

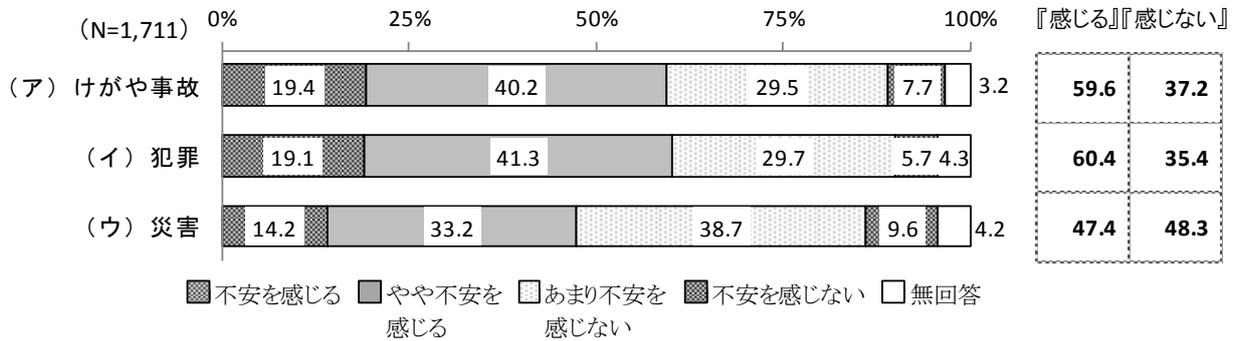
第7章 安全・安心のまちづくり

7-1 けがや事故、犯罪、災害に対する不安感

(1) 不安感の有無

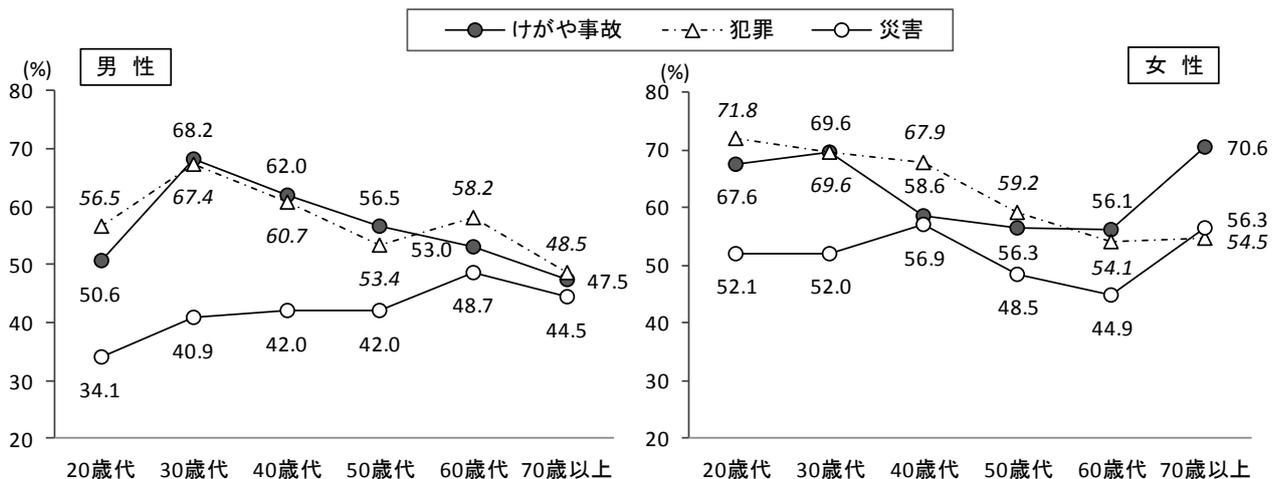
「けがや事故」「犯罪」へ不安を感じる人は約6割、「災害」にも5割近くの人が不安を感じている。

問32 (A) あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



■ 図7-1 性別・年齢別にみた『不安を感じる』割合

- ◇ けがや事故に対する不安は、70歳以上の女性は70.6%と最も高い。一方、男性は70歳以上で47.5%と最も低い。
- ◇ 犯罪に対する不安は20歳代女性で7割を超えている。



◆属性別特徴

【性別】『不安を感じる』割合は、けがや事故、犯罪、災害のいずれにおいても女性の割合が高い。特に災害では男性との差が8.3ポイントと大きい。

【年齢別】けがや事故、犯罪に対する不安は30歳代で約7割と他の年齢層と比較して高い。

【ブロック別】

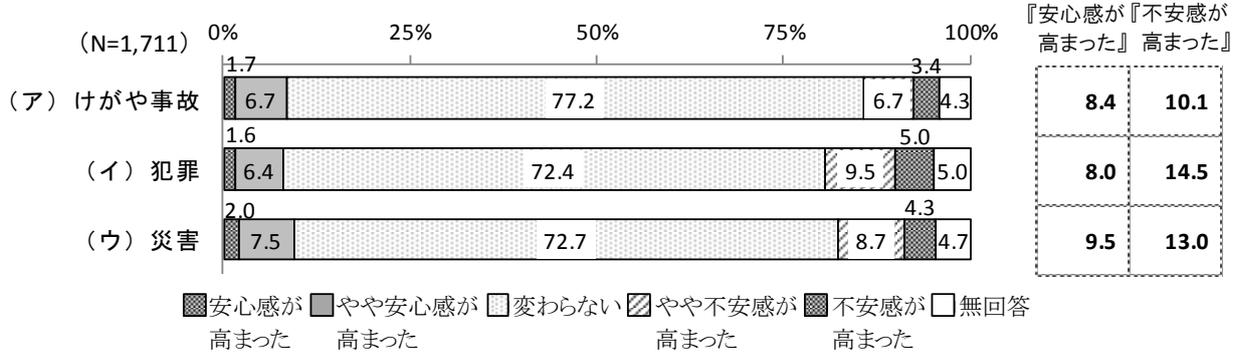
- ・けがや事故に対する不安は中央東部、中央南部、南西部で他のブロックと比較してやや高い。
- ・犯罪に対する不安は北部Aでは7割に上っているが、北部Bや西部Aでは5割に満たない。
- ・災害に対する不安は北部B、西部A、東部Bで6割前後と高い。

	標本数 (票)	(ア)けがや事故 (%)						(イ)犯罪 (%)						(ウ)災害 (%)						
		不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	19.4 (332)	40.2 (688)	29.5 (505)	7.7 (132)	3.2 (54)	59.6 (1,020)	19.1 (327)	41.3 (706)	29.7 (508)	5.7 (97)	4.3 (73)	60.4 (1,038)	14.2 (243)	33.2 (568)	38.7 (663)	9.6 (165)	4.2 (72)	47.4 (811)	
性別																				
男性	786	17.9	38.9	30.7	9.8	2.7	56.8	17.7	40.3	31.9	6.5	3.6	58.0	12.1	30.8	42.0	12.2	2.9	42.9	
女性	925	20.6	41.3	28.5	5.9	3.6	61.9	20.3	42.1	27.8	5.0	4.9	62.4	16.0	35.2	36.0	7.5	5.3	51.2	
年齢別																				
20歳代	202	23.8	36.6	29.7	8.4	1.5	60.4	27.2	38.1	27.7	5.9	1.0	65.3	15.3	29.2	43.6	10.4	1.5	44.5	
30歳代	280	26.1	42.9	26.1	5.0	-	69.0	22.9	45.7	26.1	4.6	0.7	68.6	15.0	31.8	42.5	10.4	0.4	46.8	
40歳代	324	17.9	42.3	29.3	8.0	2.5	60.2	21.0	43.5	28.4	4.6	2.5	64.5	13.9	36.1	38.6	8.0	3.4	50.0	
50歳代	300	16.3	40.0	32.7	8.3	2.7	56.3	13.3	43.3	33.7	5.7	4.0	56.6	11.7	34.0	42.3	8.0	4.0	45.7	
60歳代	394	14.2	40.4	31.7	8.1	5.6	54.6	15.0	41.1	31.2	6.6	6.1	56.1	13.7	33.0	38.1	9.9	5.3	46.7	
70歳以上	211	22.7	37.0	25.6	8.5	6.2	59.7	19.4	32.2	29.9	6.6	11.8	51.6	17.1	33.6	25.6	12.3	11.4	50.7	
性別×年齢別																				
男性:20歳代	85	16.5	34.1	35.3	12.9	1.2	50.6	16.5	40.0	34.1	8.2	1.2	56.5	8.2	25.9	48.2	16.5	1.2	34.1	
男性:30歳代	132	26.5	41.7	25.0	6.8	-	68.2	24.2	43.2	25.0	6.8	0.8	67.4	10.6	30.3	47.7	11.4	-	40.9	
男性:40歳代	150	18.7	43.3	26.7	9.3	2.0	62.0	18.0	42.7	31.3	6.0	2.0	60.7	8.7	33.3	44.7	10.7	2.7	42.0	
男性:50歳代	131	15.3	41.2	32.1	9.9	1.5	56.5	13.7	39.7	37.4	6.9	2.3	53.4	11.5	30.5	45.0	11.5	1.5	42.0	
男性:60歳代	189	13.8	39.2	30.7	10.6	5.8	53.0	14.8	43.4	30.7	4.8	6.3	58.2	15.9	32.8	37.0	10.1	4.2	48.7	
男性:70歳以上	99	18.2	29.3	38.4	10.1	4.0	47.5	20.2	28.3	35.4	8.1	8.1	48.5	16.2	28.3	30.3	17.2	8.1	44.5	
女性:20歳代	117	29.1	38.5	25.6	5.1	1.7	67.6	35.0	36.8	23.1	4.3	0.9	71.8	20.5	31.6	40.2	6.0	1.7	52.1	
女性:30歳代	148	25.7	43.9	27.0	3.4	-	69.6	21.6	48.0	27.0	2.7	0.7	69.6	18.9	33.1	37.8	9.5	0.7	52.0	
女性:40歳代	174	17.2	41.4	31.6	6.9	2.9	58.6	23.6	44.3	25.9	3.4	2.9	67.9	18.4	38.5	33.3	5.7	4.0	56.9	
女性:50歳代	169	17.2	39.1	33.1	7.1	3.6	56.3	13.0	46.2	30.8	4.7	5.3	59.2	11.8	36.7	40.2	5.3	5.9	48.5	
女性:60歳代	205	14.6	41.5	32.7	5.9	5.4	56.1	15.1	39.0	31.7	8.3	5.9	54.1	11.7	33.2	39.0	9.8	6.3	44.9	
女性:70歳以上	112	26.8	43.8	14.3	7.1	8.0	70.6	18.8	35.7	25.0	5.4	15.2	54.5	17.9	38.4	21.4	8.0	14.3	56.3	
ブロック別																				
東部A	122	18.9	39.3	34.4	5.7	1.6	58.2	13.9	37.7	34.4	8.2	5.7	51.6	12.3	42.6	34.4	6.6	4.1	54.9	
東部B(田主丸)	109	20.2	33.9	31.2	12.8	1.8	54.1	23.9	31.2	31.2	10.1	3.7	55.1	31.2	28.4	32.1	6.4	1.8	59.6	
北部A	156	25.0	36.5	29.5	7.7	1.3	61.5	23.1	47.4	23.1	3.8	2.6	70.5	15.4	35.3	39.7	6.4	3.2	50.7	
北部B(北野)	107	15.0	42.1	30.8	10.3	1.9	57.1	12.1	34.6	39.3	10.3	3.7	46.7	16.8	44.9	28.0	9.3	0.9	61.7	
中央東部	210	18.1	46.2	26.7	5.2	3.8	64.3	18.6	47.6	25.7	4.3	3.8	66.2	13.3	29.0	41.9	11.4	4.3	42.3	
南東部	176	19.9	40.9	32.4	5.7	1.1	60.8	21.0	44.3	29.0	3.4	2.3	65.3	15.3	34.1	42.6	5.7	2.3	49.4	
中央部	229	12.2	43.2	31.9	8.7	3.9	55.4	14.8	48.0	26.6	4.8	5.7	62.8	8.7	34.9	41.9	8.3	6.1	43.6	
中央南部	293	24.6	39.2	24.6	6.5	5.1	63.8	22.9	42.3	22.9	5.8	6.1	65.2	12.3	28.3	39.6	13.3	6.5	40.6	
南西部	145	18.6	44.8	23.4	9.7	3.4	63.4	21.4	33.8	36.6	4.8	3.4	55.2	9.0	34.5	40.7	11.7	4.1	43.5	
西部A(城島)	68	17.6	35.3	30.9	10.3	5.9	52.9	14.7	32.4	42.6	5.9	4.4	47.1	17.6	42.6	25.0	10.3	4.4	60.2	
西部B(三瀧)	96	20.8	30.2	38.5	7.3	3.1	51.0	17.7	33.3	40.6	5.2	3.1	51.0	16.7	19.8	44.8	14.6	4.2	36.5	

(2) 3年間での不安感の変化

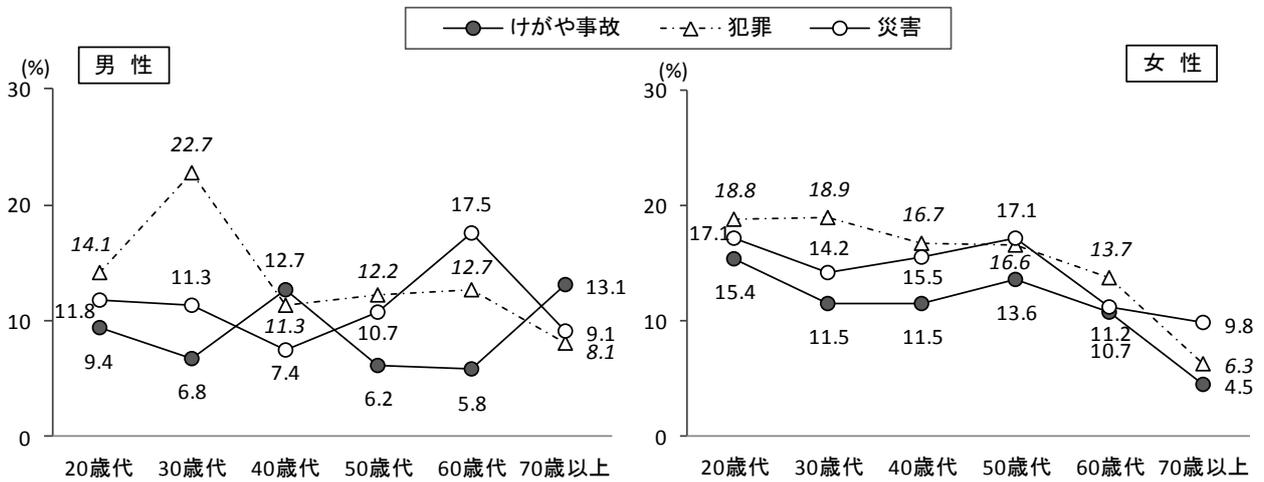
「けがや事故」「犯罪」「災害」に対して「安心感が高まった」人は1割弱、「不安感が高まった」人は1割強。

問 32 (B) では、この3年くらいの間で不安感に変化しましたか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



■ 図7-2 性別・年齢別にみた『不安感が高まった』割合

- ◇ 30歳代男性で犯罪への不安感が、60歳代男性で災害への不安感が他の年齢層より高まっている。
- ◇ 男性の40歳代と70歳以上ではけがや事故に対する不安感が他の年代より高まっているが、女性の70歳以上では4.5%と低い。

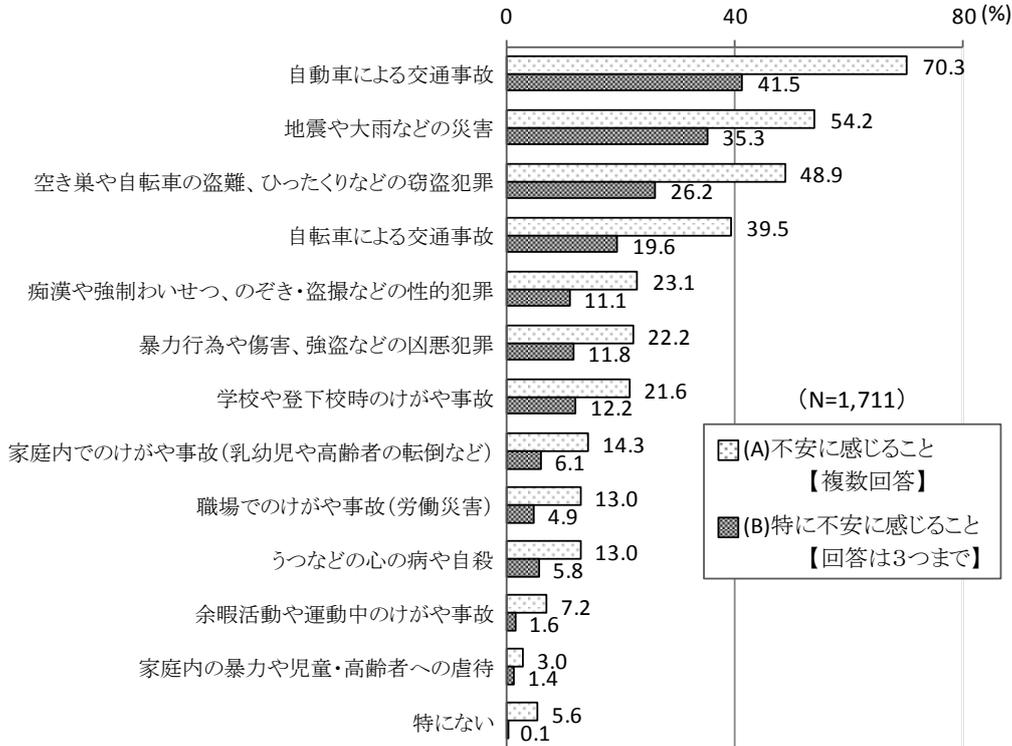


7-2 ふだんの生活で不安に感じること

「自動車による事故」への不安を感じる人が70.3%、「地震や大雨などの災害」は54.2%。

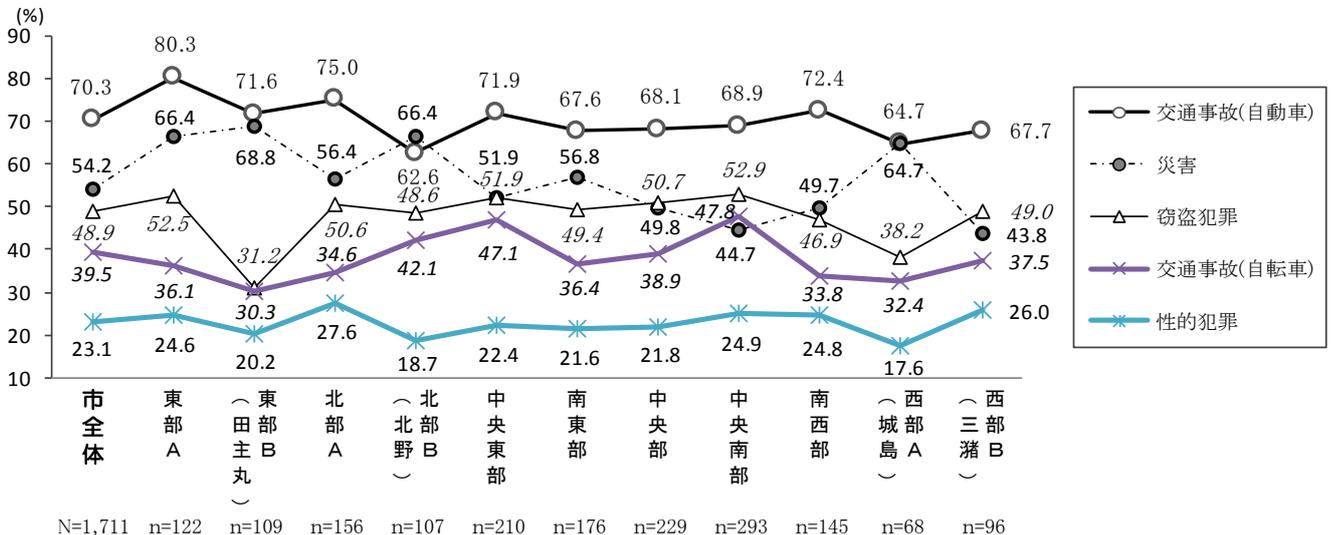
問 33 (A) あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。次にあげるものの中から、不安に感じるものをいくつでも選んでください。

問 33 (B) さらに、特に不安に感じるものを3つまで（2つ以内でも構いません）選び、下の枠内に番号を記入してください。



■図7-3 ブロック別にみた不安に感じること(上位5項目)

- ◇ 「災害」に対する不安感は東部Bで68.8%と最も高く、東部A、北部B、西部Aでも6割を超え高い。
- ◇ 「窃盗犯罪」に対する不安感は中央南部、東部A、中央東部、中央部、北部Aで5割を超えており、他のブロックと比較して高くなっている。
- ◇ 「自転車による交通事故」に対する不安感は中央南部、中央東部で高い。



◆属性別特徴

〈(A) 不安に感じること〉

【性別】「凶悪犯罪」に対する不安感は女性より男性の割合が高く、「災害」「性的犯罪」「家庭内でのけがや事故」は女性が高い。

【性別・年齢別】

- ・「自転車による交通事故」に対する不安感 30・40 歳代女性でそれぞれ約5割と高い。また、「学校や登下校時のけがや事故」も男女とも 30・40 歳代で高く、特に女性では4割を超えている。
- ・「凶悪犯罪」「うつなどの心の病や自殺」は 20 歳代男性で他の年代と比較して高い。
- ・「家庭内でのけがや事故」に対する不安感 70 歳以上女性で3割を超えており、他の年代と比較して高い。

〈(B) 特に不安に感じること〉

【性別】「凶悪犯罪」「うつなどの心の病や自殺」に対する不安感 女性より男性の割合が高く、「性的犯罪」は女性の方が高い。

【性別・年齢別】

- ・「学校や登下校時のけがや事故」に対する不安感 男女ともに 30 歳代、40 歳代で他の年代より高く、特に 30 歳代女性では3割を超えている。
- ・「性的犯罪」は 40 歳代以下の女性で他の年代と比較して高く、特に 20 歳代と 40 歳代では2割を超えている。
- ・20 歳代男性では「凶悪犯罪」「うつなどの心の病や自殺」に対する不安感が他の年代と比較して特に高い。

		標本数(票)	(A) 不安に感じること (%)																	
			自転車による交通事故	自動車による交通事故	高齢者への虐待や児童・家庭内の暴力や児童・	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	窃盗犯	難、ひつたりなど	空き巣や自転車の盗	的犯罪	痴漢や強制的な性	(職場でのけがや事故)	が余暇活動や運動中のけ	や学校や登下校時のけ	倒(乳幼児や高齢者の事故)	家庭内でのけがや事故	殺	うつなどの心の病や自	地震や大雨などの災害	特
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,711)	39.5 (675)	70.3 (1,202)	3.0 (51)	22.2 (380)	48.9 (837)	23.1 (396)	13.0 (222)	7.2 (123)	21.6 (369)	14.3 (245)	13.0 (223)	54.2 (927)	5.6 (96)	2.5 (42)				
性別	男性	786	37.2	70.9	2.5	25.2	47.6	19.1	13.7	7.9	19.7	11.5	14.4	49.0	6.0	2.2				
	女性	925	41.4	69.7	3.4	19.7	50.1	26.6	12.3	6.6	23.1	16.8	11.9	58.6	5.3	2.7				
性別×年齢別	男性:20歳代	85	34.1	65.9	1.2	37.6	49.4	17.6	22.4	8.2	11.8	7.1	24.7	52.9	8.2	2.4				
	男性:30歳代	132	34.1	75.8	3.8	30.3	45.5	22.7	18.9	6.1	33.3	14.4	16.7	50.0	3.0	0.8				
	男性:40歳代	150	43.3	72.7	3.3	24.0	51.3	33.3	16.0	8.0	36.0	9.3	18.7	48.7	6.7	2.0				
	男性:50歳代	131	37.4	73.3	1.5	23.7	50.4	18.3	16.0	9.2	12.2	6.9	10.7	46.6	5.3	0.8				
	男性:60歳代	189	37.0	69.8	1.6	23.8	49.2	13.8	6.3	6.3	10.6	11.6	11.1	51.3	6.3	3.2				
	男性:70歳以上	99	34.3	64.6	4.0	14.1	36.4	5.1	7.1	11.1	11.1	20.2	7.1	43.4	7.1	4.0				
	女性:20歳代	117	31.6	69.2	5.1	31.6	53.0	40.2	16.2	4.3	11.1	6.8	16.2	59.8	8.5	-				
	女性:30歳代	148	50.7	81.1	3.4	24.3	50.0	37.8	14.9	8.1	43.9	16.9	14.2	62.8	3.4	-				
	女性:40歳代	174	52.3	71.3	4.6	20.1	55.7	37.4	10.3	7.5	42.0	11.5	14.4	59.2	2.3	3.4				
	女性:50歳代	169	39.1	71.0	1.2	20.7	56.8	24.9	12.4	8.3	18.3	13.6	10.1	62.1	3.0	3.0				
女性:60歳代	205	35.6	65.4	3.9	14.1	46.8	15.1	13.2	4.4	9.3	21.5	9.8	53.2	7.8	3.4					
女性:70歳以上	112	36.6	58.9	1.8	8.9	33.9	4.5	6.3	7.1	11.6	31.3	7.1	55.4	8.0	6.3					
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,711)	19.6 (335)	41.5 (710)	1.4 (24)	11.8 (202)	26.2 (448)	11.1 (190)	4.9 (84)	1.6 (27)	12.2 (208)	6.1 (105)	5.8 (100)	35.3 (604)	0.1 (1)	25.8 (441)				
性別	男性	786	18.2	40.7	1.5	14.4	25.3	7.0	5.1	2.3	10.1	4.6	8.0	33.5	0.1	27.4				
	女性	925	20.8	42.2	1.3	9.6	26.9	14.6	4.8	1.0	13.9	7.5	4.0	36.9	-	24.4				
性別×年齢別	男性:20歳代	85	20.0	40.0	-	24.7	23.5	5.9	11.8	-	2.4	2.4	17.6	41.2	-	22.4				
	男性:30歳代	132	14.4	47.7	3.0	15.9	23.5	8.3	4.5	1.5	20.5	6.1	8.3	34.1	-	18.9				
	男性:40歳代	150	21.3	38.7	1.3	12.7	26.7	15.3	6.0	2.0	19.3	5.3	9.3	33.3	-	22.0				
	男性:50歳代	131	20.6	40.5	-	11.5	28.2	7.6	8.4	1.5	4.6	2.3	6.1	33.6	-	24.4				
	男性:60歳代	189	14.8	40.2	1.1	15.9	29.1	2.6	0.5	3.2	4.8	3.2	5.8	35.4	0.5	33.3				
	男性:70歳以上	99	20.2	36.4	4.0	7.1	16.2	1.0	3.0	5.1	6.1	9.1	4.0	22.2	-	43.4				
	女性:20歳代	117	23.1	46.2	-	16.2	31.6	24.8	7.7	-	6.0	4.3	3.4	36.8	-	19.7				
	女性:30歳代	148	21.6	43.9	0.7	10.1	26.4	19.6	2.0	1.4	31.8	6.8	6.1	38.5	-	14.9				
	女性:40歳代	174	24.7	39.1	2.3	8.6	26.4	23.0	5.2	0.6	25.3	5.7	3.4	36.2	-	16.7				
	女性:50歳代	169	20.7	47.9	0.6	7.7	33.1	10.7	6.5	1.2	5.9	7.1	4.1	44.4	-	20.7				
女性:60歳代	205	15.1	42.4	2.9	9.8	25.4	8.3	4.4	1.5	5.9	7.8	3.9	34.6	-	33.2					
女性:70歳以上	112	21.4	31.3	-	6.3	17.0	1.8	2.7	0.9	8.0	14.3	2.7	28.6	-	43.8					

7-3 防災

(1) 家庭における災害への備え

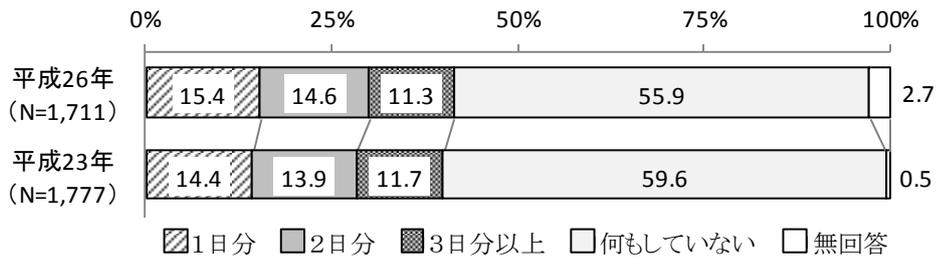
3日以上の備蓄をしている人は「水」11.3%、「食料」15.7%。

「何もしていない」人が約5割。

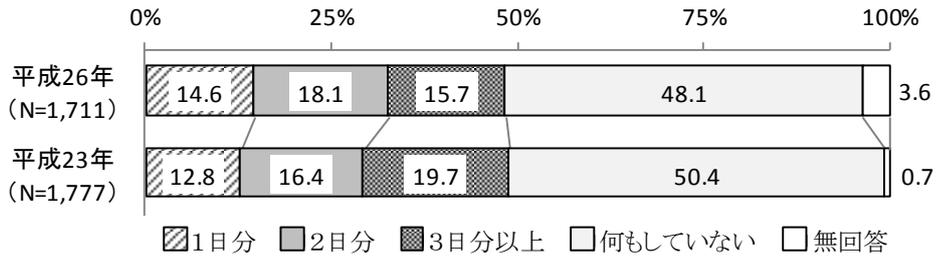
「水」「食料」ともに、3日分以上備蓄している人の割合は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。

問 34 地震や災害などの災害時に電気・水道・ガスなどがストップした場合に備えて、あなたのご家庭では水や食料をどの程度備蓄していますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)

(ア) 水 (1日あたり3ℓが目安)



(イ) 食料



◆属性別特徴

【性別・年齢別】

- ・水、食料ともに「何もしていない」割合は年齢が低くなるほど高い傾向にあり、特に 20 歳代女性では水が 75.2%、食料が 67.5%と高い。
- ・水、食料ともに 70 歳以上で「3日分以上」備蓄している割合が他の年代と比較して高い。

【ブロック別】

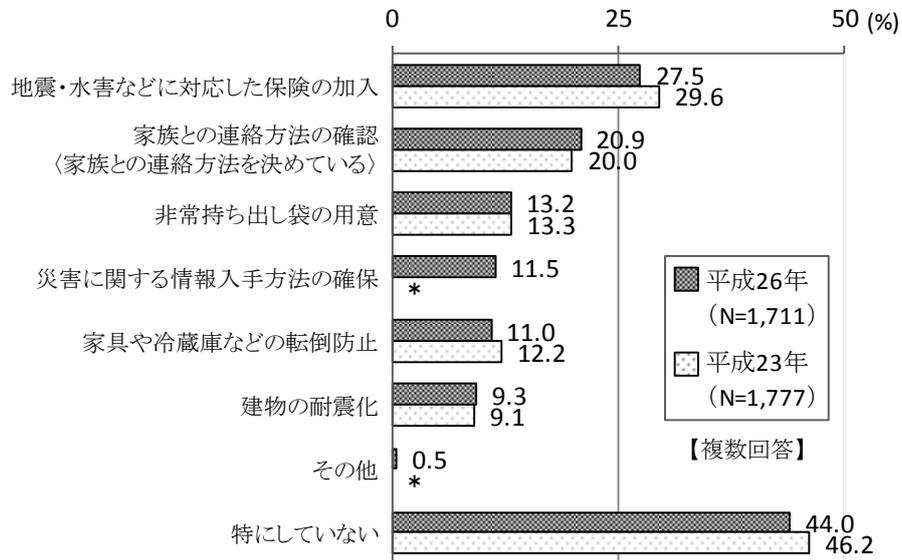
- ・水を「3日分以上」備蓄している割合は中央部で 17.9%、食料を「3日分以上」備蓄している割合は中央東部が約2割で、他のブロックと比較して高い。

	標本数 (票)	(ア)水 (%)					(イ)食料 (%)				
		1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答	1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	15.4 (264)	14.6 (250)	11.3 (194)	55.9 (956)	2.7 (47)	14.6 (249)	18.1 (309)	15.7 (268)	48.1 (823)	3.6 (62)
性別											
男性	786	15.3	14.8	12.2	55.0	2.8	13.9	17.0	17.4	48.0	3.7
女性	925	15.6	14.5	10.6	56.6	2.7	15.1	18.9	14.2	48.2	3.6
年齢別											
20歳代	202	11.4	13.4	7.4	66.3	1.5	11.4	15.8	8.4	62.4	2.0
30歳代	280	12.9	15.7	9.6	60.7	1.1	16.4	18.2	12.1	51.8	1.4
40歳代	324	16.7	9.6	11.7	59.6	2.5	17.3	15.7	13.9	50.3	2.8
50歳代	300	20.0	15.0	7.3	56.3	1.3	15.3	19.7	15.7	47.7	1.7
60歳代	394	15.5	16.0	13.5	50.8	4.3	14.2	19.5	17.3	43.1	5.8
70歳以上	211	14.2	19.0	18.5	42.7	5.7	10.4	18.5	27.0	36.0	8.1
性別×年齢別											
男性:20歳代	85	10.6	17.6	15.3	54.1	2.4	9.4	20.0	12.9	55.3	2.4
男性:30歳代	132	12.1	12.1	11.4	62.9	1.5	14.4	14.4	14.4	54.5	2.3
男性:40歳代	150	19.3	11.3	11.3	56.0	2.0	19.3	14.0	15.3	48.7	2.7
男性:50歳代	131	19.8	16.8	4.6	58.0	0.8	14.5	19.1	13.7	51.9	0.8
男性:60歳代	189	14.8	15.3	13.8	51.3	4.8	13.2	19.0	20.6	41.3	5.8
男性:70歳以上	99	12.1	17.2	19.2	46.5	5.1	9.1	16.2	27.3	39.4	8.1
女性:20歳代	117	12.0	10.3	1.7	75.2	0.9	12.8	12.8	5.1	67.5	1.7
女性:30歳代	148	13.5	18.9	8.1	58.8	0.7	18.2	21.6	10.1	49.3	0.7
女性:40歳代	174	14.4	8.0	12.1	62.6	2.9	15.5	17.2	12.6	51.7	2.9
女性:50歳代	169	20.1	13.6	9.5	55.0	1.8	16.0	20.1	17.2	44.4	2.4
女性:60歳代	205	16.1	16.6	13.2	50.2	3.9	15.1	20.0	14.1	44.9	5.9
女性:70歳以上	112	16.1	20.5	17.9	39.3	6.3	11.6	20.5	26.8	33.0	8.0
ブロック別											
東部A	122	14.8	13.9	9.8	59.8	1.6	9.0	22.1	15.6	49.2	4.1
東部B(田主丸)	109	17.4	13.8	10.1	56.0	2.8	15.6	20.2	15.6	45.9	2.8
北部A	156	14.7	16.0	10.3	57.7	1.3	14.7	19.2	9.0	55.1	1.9
北部B(北野)	107	19.6	13.1	11.2	54.2	1.9	15.9	15.9	18.7	46.7	2.8
中央東部	210	16.2	13.3	12.4	56.2	1.9	20.0	15.2	20.5	40.0	4.3
南東部	176	17.0	13.1	10.2	58.0	1.7	10.8	22.2	14.2	49.4	3.4
中央部	229	12.2	14.8	17.9	51.1	3.9	12.7	18.3	18.3	46.3	4.4
中央南部	293	15.7	15.7	9.2	55.3	4.1	17.7	15.7	15.4	46.8	4.4
南西部	145	13.8	15.9	9.0	58.6	2.8	11.0	22.1	11.0	53.1	2.8
西部A(城島)	68	17.6	19.1	8.8	50.0	4.4	17.6	20.6	14.7	44.1	2.9
西部B(三瀧)	96	13.5	12.5	12.5	58.3	3.1	11.5	8.3	17.7	58.3	4.2

(2) 家庭で行っている災害対策

「保険の加入」が約3割、「家族との連絡方法の確認」が約2割。

問 35 あなたのご家庭では、地震などの災害に備え、次にあげるような対策をとっていますか。
 (あてはまる番号にいくつでも○印)



注) *は平成23年調査にはない項目。

◆属性別特徴

【性別】「非常用持ち出し袋の用意」「建物の耐震化」などで男性より女性の割合が高い。

【性別・年齢別】

- ・「地震・水害などに対応した保険の加入」は、20歳代は1割、30歳代は2割、40歳以上では約3割と年齢が上がるほど割合も高くなる傾向がみられる。
- ・「非常用持ち出し袋の用意」は70歳以上女性では2割を超えている一方、20歳代の男女と50歳代男性では1割に満たず低い。
- ・「特にしていない」は40歳代でやや低くなっているものの、若年層ほど割合は高くなる傾向がみられる。

【ブロック別】

- ・「地震・水害などに対応した保険の加入」は東部Bで39.4%と目立って高い。
- ・「特にしていない」人が北部A、南西部で約5割となっている。

		標本数 (票)	地震などの災害に備えた対策 (%)									
			の非常 用意持 出し袋	家族の 確認の 連絡方	の地震 加入・ 水害な 保険ど	建物 の耐 震化	家具 の転 倒防 止庫	保 報 災 入 害 手 方 関 法 の 確 情	そ の 他	特 に し て い な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,711)	13.2 (226)	20.9 (357)	27.5 (470)	9.3 (159)	11.0 (188)	11.5 (196)	0.5 (8)	44.0 (753)	2.4 (41)	
性別	男性	786	10.7	19.7	27.6	7.4	12.1	12.2	0.6	46.2	2.7	
	女性	925	15.4	21.8	27.4	10.9	10.1	10.8	0.3	42.2	2.2	
年齢別	20歳代	202	8.9	15.3	10.9	8.4	9.4	11.9	0.5	59.9	1.0	
	30歳代	280	14.3	18.6	21.4	9.6	11.1	11.1	0.4	46.8	1.8	
	40歳代	324	11.4	23.1	30.9	11.1	10.2	10.5	0.3	40.7	2.2	
	50歳代	300	11.7	17.3	30.7	7.3	8.3	12.3	1.0	45.0	1.3	
	60歳代	394	14.5	25.4	32.5	8.4	13.2	12.2	0.5	39.3	3.0	
	70歳以上	211	18.5	22.3	32.2	11.4	13.3	10.4	-	37.4	5.2	
	性別×年齢別	男性:20歳代	85	8.2	15.3	15.3	4.7	10.6	10.6	1.2	57.6	2.4
男性:30歳代		132	12.1	17.4	19.7	6.8	12.9	10.6	0.8	50.8	2.3	
男性:40歳代		150	12.7	19.3	29.3	8.0	10.7	12.0	-	42.7	2.0	
男性:50歳代		131	4.6	15.3	32.8	6.1	8.4	13.0	0.8	50.4	0.8	
男性:60歳代		189	11.6	24.9	31.2	9.5	14.3	12.7	1.1	41.3	3.2	
男性:70歳以上		99	14.1	23.2	32.3	7.1	15.2	14.1	-	39.4	6.1	
女性:20歳代		117	9.4	15.4	7.7	11.1	8.5	12.8	-	61.5	-	
女性:30歳代		148	16.2	19.6	23.0	12.2	9.5	11.5	-	43.2	1.4	
女性:40歳代		174	10.3	26.4	32.2	13.8	9.8	9.2	0.6	39.1	2.3	
女性:50歳代		169	17.2	18.9	29.0	8.3	8.3	11.8	1.2	40.8	1.8	
女性:60歳代		205	17.1	25.9	33.7	7.3	12.2	11.7	-	37.6	2.9	
女性:70歳以上		112	22.3	21.4	32.1	15.2	11.6	7.1	-	35.7	4.5	
ブロック別		東部A	122	10.7	24.6	29.5	9.8	6.6	13.9	-	40.2	2.5
		東部B(田主丸)	109	10.1	18.3	39.4	13.8	11.0	14.7	-	40.4	0.9
	北部A	156	12.8	22.4	21.2	5.8	6.4	10.9	0.6	50.0	0.6	
	北部B(北野)	107	18.7	20.6	30.8	10.3	17.8	10.3	0.9	34.6	3.7	
	中央東部	210	13.8	21.0	24.8	8.6	9.0	10.0	1.0	44.3	2.4	
	南東部	176	13.1	18.8	26.1	9.7	11.4	11.4	0.6	46.6	2.3	
	中央部	229	14.4	22.7	27.5	10.0	13.5	12.7	0.4	41.9	2.2	
	中央南部	293	14.3	23.9	26.3	8.2	11.9	9.6	0.3	45.4	3.1	
	南西部	145	11.7	16.6	26.9	10.3	13.8	13.1	0.7	49.7	1.4	
	西部A(城島)	68	17.6	20.6	30.9	7.4	7.4	4.4	-	39.7	4.4	
西部B(三瀨)	96	6.3	13.5	28.1	10.4	9.4	15.6	-	43.8	4.2		

(3) 避難所の認知

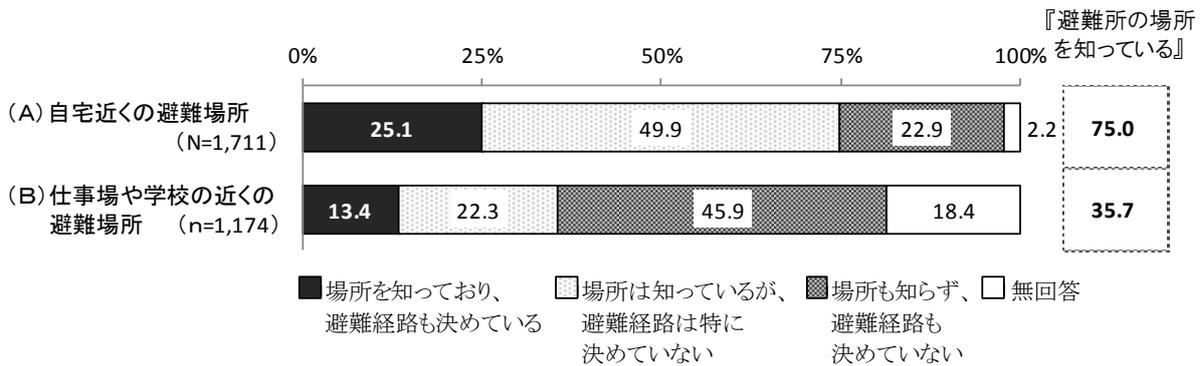
「自宅近くの避難所」の認知は75.0%と高いが、「仕事場や学校近くの避難所」の認知は35.7%で、知らない人が多い。

問 36 久留米市では、災害が起こった時のために、校区内の公立小中学校やコミュニティセンター、市役所関連施設などを避難所に指定しています。次の(A)(B)について、あてはまるものを選んでください。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)

(A) 自宅近くにある避難所の場所を知っていますか。

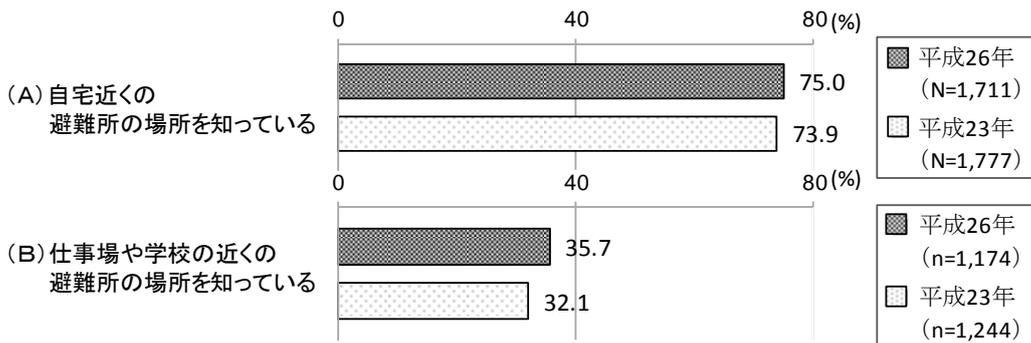
(B) 【通勤・通学をされている方にお聞きします。】

あなたの仕事場や学校の近くにある避難所の場所を知っていますか。



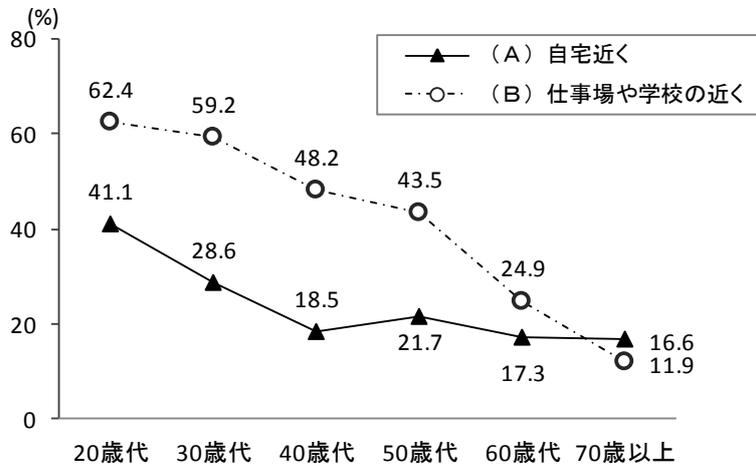
■ 図7-4 避難所の認知(平成23年との比較)

◇ 自宅近く、仕事場や学校の近くの避難所の場所を知っている割合は、3年前と比較するとわずかに増えている。



■図7-5 年齢別にみた避難所の場所も知らず避難経路も決めていない割合

◇(A)(B)いずれも年齢が低い層ほど割合が高い傾向にあり、20歳代では自宅近くの避難所の「場所も知らず、避難経路も決めていない」割合は4割に、仕事場や学校の近くでは6割に上っている。



◆属性別特徴

【性別】自宅近くの『避難所の場所を知っている』割合は男性より女性の方が高い。

【ブロック別】

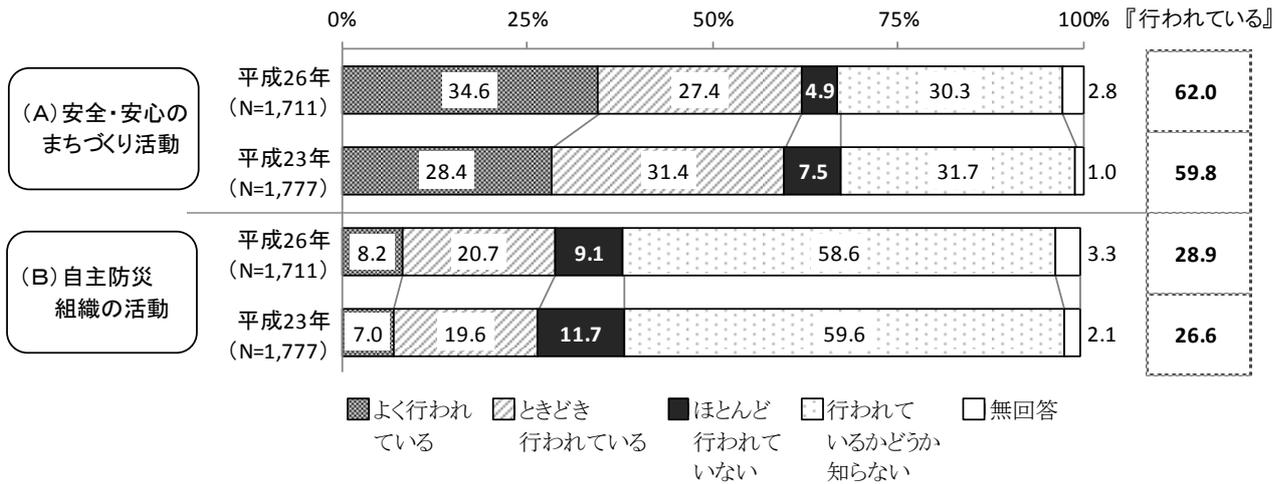
- ・自宅近くの避難所の「場所も知らず、避難経路も決めていない」割合は中央南部(30.0%)、北部A(27.6%)で他のブロックと比較して高い。
- ・仕事場や学校近くの避難所の「場所も知らず、避難経路も決めていない」割合は北部A、北部B、中央東部、中央南部で5割を超えている。

	標本数(票)	(A)自宅近くの避難所 (%)					標本数(票)	(B)仕事場や学校の近くの避難所 (%)				
		避難経路も決めていない	避難場所も知らない	経路も決めていない	場所も知らず、避難経路も決めていない	無回答		『知つていない場所を』	避難経路も決めていない	避難場所も知らない	経路も決めていない	場所も知らず、避難経路も決めていない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	25.1 (429)	49.9 (853)	22.9 (391)	2.2 (38)	75.0 (1,282)	100.0 (1,174)	13.4 (157)	22.3 (262)	45.9 (539)	18.4 (216)	35.7 (419)
性別												
男性	786	23.9	48.2	25.6	2.3	72.1	609	14.3	22.3	44.5	18.9	36.6
女性	925	26.1	51.2	20.5	2.2	77.3	565	12.4	22.3	47.4	17.9	34.7
年齢別												
20歳代	202	13.9	44.6	41.1	0.5	58.5	173	8.7	20.2	62.4	8.7	28.9
30歳代	280	16.1	54.6	28.6	0.7	70.7	228	11.4	22.4	59.2	7.0	33.8
40歳代	324	21.3	57.7	18.5	2.5	79.0	272	12.1	26.8	48.2	12.9	38.9
50歳代	300	25.3	51.3	21.7	1.7	76.6	246	17.1	22.8	43.5	16.7	39.9
60歳代	394	31.5	48.2	17.3	3.0	79.7	213	16.9	19.7	24.9	38.5	36.6
70歳以上	211	41.2	37.4	16.6	4.7	78.6	42	11.9	11.9	11.9	64.3	23.8
ブロック別												
東部A	122	32.0	49.2	17.2	1.6	81.2	87	10.3	23.0	47.1	19.5	33.3
東部B(田主丸)	109	33.0	49.5	16.5	0.9	82.5	76	17.1	31.6	30.3	21.1	48.7
北部A	156	18.6	53.2	27.6	0.6	71.8	116	12.1	24.1	52.6	11.2	36.2
北部B(北野)	107	26.2	54.2	17.8	1.9	80.4	75	10.7	16.0	50.7	22.7	26.7
中央東部	210	18.6	55.2	24.3	1.9	73.8	144	16.7	20.8	50.7	11.8	37.5
南東部	176	23.9	48.9	24.4	2.8	72.8	105	10.5	21.9	49.5	18.1	32.4
中央部	229	29.7	45.9	21.8	2.6	75.6	154	20.1	21.4	39.0	19.5	41.5
中央南部	293	22.5	44.4	30.0	3.1	66.9	202	11.9	20.8	50.5	16.8	32.7
南西部	145	26.2	54.5	17.9	1.4	80.7	100	9.0	24.0	48.0	19.0	33.0
西部A(城島)	68	29.4	50.0	16.2	4.4	79.4	51	11.8	25.5	35.3	27.5	37.3
西部B(三瀧)	96	25.0	50.0	21.9	3.1	75.0	64	12.5	20.3	35.9	31.3	32.8

(4) 地域の自主的な活動

**安心・安全のまちづくり活動は『行われている』が約6割。
自主防災組織の活動は「行われているかどうか知らない」が約6割。**

問 37 (A) あなたのお住まいの地域では、住民の自主的な交通安全活動や防犯活動、見守り活動といった、安全・安心のまちづくり活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)
問 37 (B) あなたのお住まいの地域では、校区コミュニティ組織などを母体とした自主防災組織の活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



1. 自主防災組織に参加しよう

大災害が発生したとき、交通網の寸断により、消防や警察などの公共機関が十分に対応できない可能性があります。そんなときに力を発揮するのが「自主防災組織」です。

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という心がまえで、積極的に自主防災組織の活動に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。

自主防災組織の活動・訓練内容

- (1) 初期消火訓練
- (2) 応急救命訓練
- (3) 炊き出し訓練



2. 災害時要援護者を災害から守ろう

突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や乳幼児、障害者、傷病者、外国人など、なんらかの手助けが必要な人（災害時要援護者）です。災害時要援護者を災害から守るために、地域で協力し合いながら支援していきましょう。



災害時は助け合って早めに避難しましょう!

◆属性別特徴

【性別】(B) 自主防災組織の活動については、「行われているかどうか知らない」割合が女性 61.6%と男性より高くなっている。

【年齢別】

・(A)については、40 歳代で「よく行われている」が4割と高く、「ときどき行われている」を合わせると7割を超えており、他の年齢層と比較して最も高い。一方、20 歳代は『行われている』割合が5割に満たず低い値となっている。

・(B)については、『行われている』割合が 30 歳代以下では2割前後と低いが、40 歳以上で3割を超えている。また、「行われているかどうか知らない」は年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられ、20 歳代では7割を超えている。

【ブロック別】

・(A)については、「よく行われている」が東部Aで54.1%、南西部で47.6%と高く、これに「ときどき行われている」を合わせると東部Aで8割、南西部では7割半ばに上り、他のブロックと比較して特に高い。

・(B)については(A)と同様東部Aで『行われている』割合が 43.4%と高い。

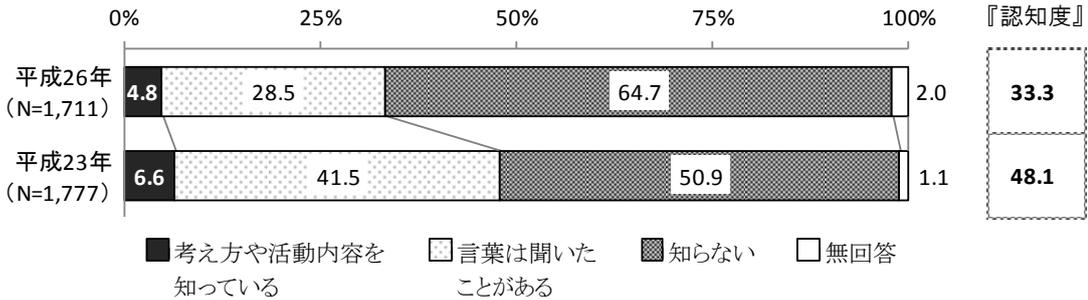
	標本数 (票)	(A)安全・安心のまちづくり活動 (%)						(B)自主防災組織の活動 (%)					
		よく 行わ れて いる	い と ど き 行 わ れ て	い な い と ど き 行 わ れ て	ほ ん と 知 ら な い か ど	う か わ れ て い る か ど	無 回 答	『 行 わ れ て い る 』	よく 行 わ れ て い る	い と ど き 行 わ れ て	い な い と ど き 行 わ れ て	う か わ れ て い る か ど	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	34.6 (592)	27.4 (469)	4.9 (84)	30.3 (518)	2.8 (48)	62.0 (1,061)	8.2 (141)	20.7 (355)	9.1 (156)	58.6 (1,003)	3.3 (56)	28.9 (496)
性別													
男性	786	35.4	25.8	6.1	30.3	2.4	61.2	8.1	22.1	11.6	55.1	3.1	30.2
女性	925	33.9	28.8	3.9	30.3	3.1	62.7	8.3	19.6	7.0	61.6	3.5	27.9
年齢別													
20歳代	202	22.8	25.7	2.5	48.5	0.5	48.5	8.4	9.9	5.9	74.8	1.0	18.3
30歳代	280	32.5	23.6	5.4	37.5	1.1	56.1	7.1	15.7	6.8	68.9	1.4	22.8
40歳代	324	40.4	31.8	4.3	21.6	1.9	72.2	8.0	25.9	6.2	57.4	2.5	33.9
50歳代	300	36.0	30.7	4.0	26.7	2.7	66.7	7.3	26.3	9.3	54.3	2.7	33.6
60歳代	394	37.1	28.2	6.6	24.6	3.6	65.3	8.4	21.8	12.7	52.8	4.3	30.2
70歳以上	211	33.2	21.3	5.7	32.2	7.6	54.5	10.9	19.9	12.8	48.3	8.1	30.8
性別×年齢別													
男性:20歳代	85	22.4	22.4	4.7	49.4	1.2	44.8	8.2	15.3	5.9	68.2	2.4	23.5
男性:30歳代	132	30.3	24.2	6.8	37.1	1.5	54.5	8.3	14.4	9.1	66.7	1.5	22.7
男性:40歳代	150	39.3	30.0	4.7	24.7	1.3	69.3	7.3	30.0	8.7	52.7	1.3	37.3
男性:50歳代	131	35.1	31.3	7.6	25.2	0.8	66.4	6.9	26.7	13.0	52.7	0.8	33.6
男性:60歳代	189	40.7	22.8	7.9	24.3	4.2	63.5	7.9	20.6	15.9	49.7	5.8	28.5
男性:70歳以上	99	37.4	23.2	3.0	31.3	5.1	60.6	11.1	23.2	14.1	45.5	6.1	34.3
女性:20歳代	117	23.1	28.2	0.9	47.9	-	51.3	8.5	6.0	6.0	79.5	-	14.5
女性:30歳代	148	34.5	23.0	4.1	37.8	0.7	57.5	6.1	16.9	4.7	70.9	1.4	23.0
女性:40歳代	174	41.4	33.3	4.0	19.0	2.3	74.7	8.6	22.4	4.0	61.5	3.4	31.0
女性:50歳代	169	36.7	30.2	1.2	27.8	4.1	66.9	7.7	26.0	6.5	55.6	4.1	33.7
女性:60歳代	205	33.7	33.2	5.4	24.9	2.9	66.9	8.8	22.9	9.8	55.6	2.9	31.7
女性:70歳以上	112	29.5	19.6	8.0	33.0	9.8	49.1	10.7	17.0	11.6	50.9	9.8	27.7
ブロック別													
東部A	122	54.1	26.2	0.8	16.4	2.5	80.3	13.1	30.3	7.4	46.7	2.5	43.4
東部B(田主丸)	109	43.1	24.8	5.5	26.6	-	67.9	12.8	21.1	15.6	49.5	0.9	33.9
北部A	156	35.3	27.6	4.5	30.8	1.9	62.9	5.8	21.8	7.7	63.5	1.3	27.6
北部B(北野)	107	26.2	31.8	8.4	31.8	1.9	58.0	7.5	13.1	12.1	65.4	1.9	20.6
中央東部	210	26.7	25.7	6.2	39.0	2.4	52.4	6.2	21.4	9.0	60.0	3.3	27.6
南東部	176	27.8	29.0	4.0	35.8	3.4	56.8	5.1	19.3	8.5	63.1	4.0	24.4
中央部	229	27.1	28.8	5.7	35.4	3.1	55.9	6.6	19.2	8.3	62.4	3.5	25.8
中央南部	293	35.8	24.9	5.8	29.0	4.4	60.7	8.5	17.4	7.2	61.4	5.5	25.9
南西部	145	47.6	26.9	3.4	19.3	2.8	74.5	11.0	23.4	8.3	54.5	2.8	34.4
西部A(城島)	68	38.2	25.0	5.9	26.5	4.4	63.2	11.8	22.1	11.8	50.0	4.4	33.9
西部B(三瀧)	96	30.2	34.4	2.1	31.3	2.1	64.6	8.3	25.0	11.5	52.1	3.1	33.3

7-4 セーフコミュニティについて

(1) セーフコミュニティの認知度

**セーフコミュニティの認知は33.3%。
年代が下がるほど認知度も低くなる傾向にある。**

問38 久留米市は、平成25年12月にセーフコミュニティの国際認証を取得しましたが、あなたはWHO（世界保健機関）関連機関が提唱する「セーフコミュニティ」のことを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



◆属性別特徴

【性別】「言葉は聞いたことがある」で男性より女性の割合が5ポイントほど高い。

【性別・年齢別】

・「知らない」割合は20歳代で最も高く、特に男性では8割を超えている。

・「考え方や活動内容を知っている」は70歳以上男性が1割と他の年齢層と比較して高い。

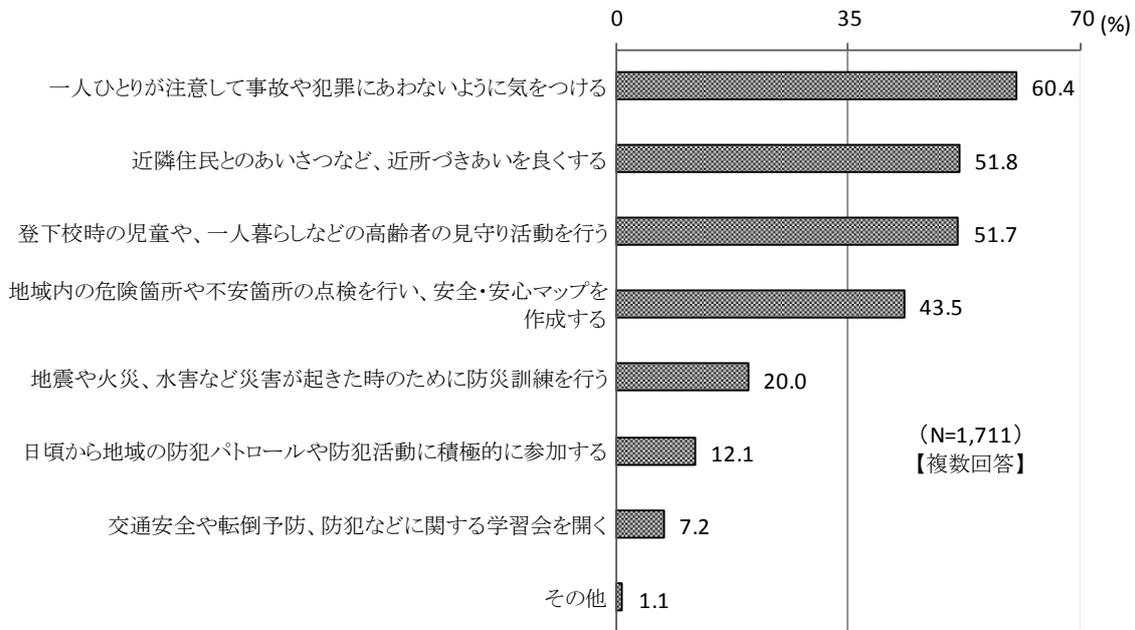
【ブロック別】認知度は南東部と西部Aで比較的高く、西部B、東部Bでは3割未満と他のブロックと比較して低い。

	標本数 (票)	セーフコミュニティの認知 (%)					『認知度』		標本数 (票)	セーフコミュニティの認知 (%)					『認知度』
		い る 考 え 方 を 知 つ て 動	こ と が あ る 言 葉 は 聞 いた	知 ら ない	無 回 答	『認知度』				い る 考 え 方 を 知 つ て 動	こ と が あ る 言 葉 は 聞 いた	知 ら ない	無 回 答	『認知度』	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	4.8 (82)	28.5 (488)	64.7 (1,107)	2.0 (34)	33.3 (570)		全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	4.8 (82)	28.5 (488)	64.7 (1,107)	2.0 (34)	33.3 (570)	
性別															
男性	786	6.6	25.7	66.2	1.5	32.3	年齢別	20歳代	202	2.0	19.8	78.2	0.4	21.8	
女性	925	3.2	30.9	63.5	2.4	34.1		30歳代	280	3.2	27.5	68.9	0.4	30.7	
								40歳代	324	5.2	27.2	65.4	2.2	32.4	
								50歳代	300	4.7	24.7	68.7	2.0	29.4	
								60歳代	394	5.8	35.8	55.3	3.0	41.6	
								70歳以上	211	7.1	32.2	56.9	3.8	39.3	
性別×年齢別															
男性:20歳代	85	2.4	16.5	81.2	-	18.9	ブロック別	東部A	122	3.3	29.5	66.4	0.8	32.8	
男性:30歳代	132	4.5	24.2	71.2	-	28.7		東部B(田主丸)	109	2.8	25.7	69.7	1.8	28.5	
男性:40歳代	150	5.3	23.3	70.0	1.3	28.6		北部A	156	6.4	24.4	67.9	1.3	30.8	
男性:50歳代	131	7.6	23.7	67.2	1.5	31.3		北部B(北野)	107	6.5	24.3	68.2	0.9	30.8	
男性:60歳代	189	7.9	34.9	54.5	2.6	42.8		中央東部	210	4.8	31.9	61.0	2.4	36.7	
男性:70歳以上	99	11.1	24.2	61.6	3.0	35.3		南東部	176	5.7	34.7	58.5	1.1	40.4	
女性:20歳代	117	1.7	22.2	76.1	-	23.9		中央部	229	4.8	25.8	67.2	2.2	30.6	
女性:30歳代	148	2.0	30.4	66.9	0.7	32.4		中央南部	293	3.4	28.3	65.2	3.1	31.7	
女性:40歳代	174	5.2	30.5	61.5	2.9	35.7		南西部	145	5.5	29.0	64.1	1.4	34.5	
女性:50歳代	169	2.4	25.4	69.8	2.4	27.8		西部A(城島)	68	5.9	39.7	50.0	4.4	45.6	
女性:60歳代	205	3.9	36.6	56.1	3.4	40.5		西部B(三潁)	96	5.2	21.9	70.8	2.1	27.1	
女性:70歳以上	112	3.6	39.3	52.7	4.5	42.9									

(2) 地域で必要な取り組みや対策

「一人ひとりが気をつける」「近所づきあいを良くする」「見守り活動を行う」の上位3項目が5割を超え高い。

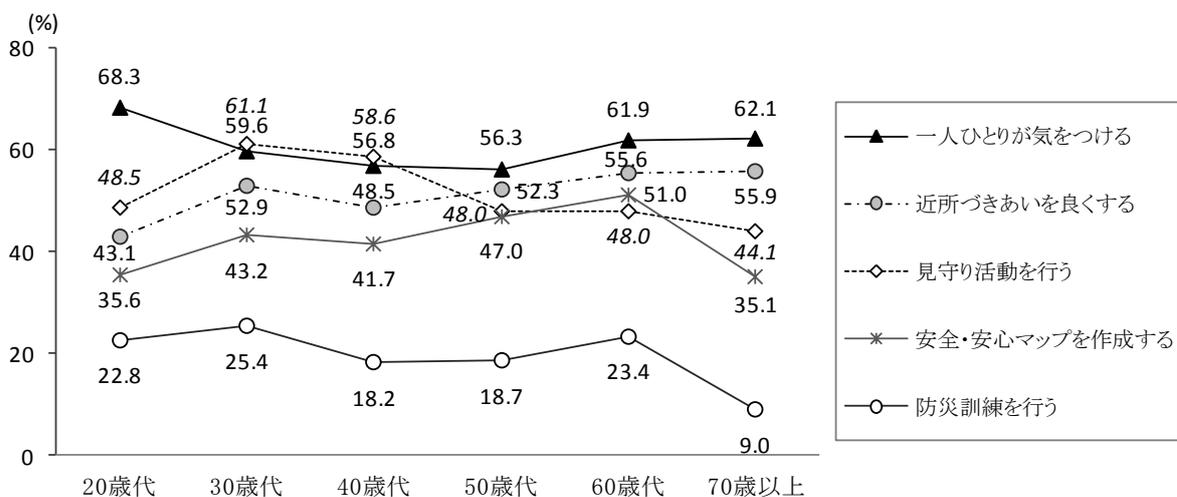
問 39 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐために、個人や地域で特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■ 図7-6 年齢別にみた地域で必要な取り組みや対策(上位5項目)

◇「見守り活動を行う」は30歳代と40歳代で高くなっている。

◇「安全・安心マップを作成する」は70歳以上と20歳代で、「防災訓練を行う」は70歳以上で、それぞれ他の年齢層と比較して低い。





◆属性別特徴

【性別】「見守り活動を行う」では男性より女性が6.5ポイント高く、「パトロールや防犯活動に参加する」では女性より男性が高い。

【性別・年齢別】

・「見守り活動を行う」「防災訓練を行う」「交通安全などの学習会を開く」の割合はそれぞれ30歳代女性で最も高くなっている。

・「安心・安全マップを作成する」は60歳代女性で53.7%と、他の年齢層と比較して最も高い。

【ブロック別】

・「近所づきあいをよくする」は南西部、北部B、東部Aで、「防災訓練を行う」は東部B、北部B、西部Aで、それぞれ他のブロックと比較して高い。

	標本数(票)	けがや事故、犯罪などを防ぐために、個人や地域で行う必要がある取り組み(%)									
		心所地 マの域 ツ点内 プ検の を作成 する	活ら登 動し下 をな校 行の時 うのの 高児 齢童 者の 見一 守人 り暮	近近 所隣 づ住 き民 あとの いの を良 くさ つな ど	にロ日 参ー頃 加ルか すやら る防地 域の 活防 動に 積犯 極極 的的	な交 ど通 に安 関全 するや る転 学倒 習予 会防 を開防 く犯	練が地 を起震 行きた うた火 災、 の 水 害 に 防 災 訓 害	をや一 つ犯人 けるひ るにと り あ わ が 注 意 し よ う て に 事 故	そ の 他	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	43.5 (744)	51.7 (885)	51.8 (886)	12.1 (207)	7.2 (123)	20.0 (343)	60.4 (1,033)	1.1 (18)	3.4 (58)	
性別											
男性	786	42.4	48.2	51.4	13.7	6.4	18.1	58.1	1.1	3.3	
女性	925	44.4	54.7	52.1	10.7	7.9	21.7	62.3	1.0	3.5	
年齢別											
20歳代	202	35.6	48.5	43.1	10.9	8.4	22.8	68.3	1.5	1.5	
30歳代	280	43.2	61.1	52.9	15.7	8.6	25.4	59.6	1.1	1.1	
40歳代	324	41.7	58.6	48.5	12.0	7.7	18.2	56.8	0.6	4.3	
50歳代	300	47.0	48.0	52.3	9.0	4.3	18.7	56.3	1.3	3.0	
60歳代	394	51.0	48.0	55.6	14.0	7.9	23.4	61.9	0.8	3.6	
70歳以上	211	35.1	44.1	55.9	9.5	6.2	9.0	62.1	1.4	7.1	
性別×年齢別											
男性:20歳代	85	35.3	52.9	37.6	11.8	9.4	18.8	64.7	2.4	2.4	
男性:30歳代	132	40.9	50.8	53.0	14.4	4.5	20.5	56.1	1.5	2.3	
男性:40歳代	150	41.3	54.0	50.7	10.0	6.0	14.0	59.3	0.7	6.0	
男性:50歳代	131	48.1	45.0	55.7	12.2	3.8	17.6	51.1	-	2.3	
男性:60歳代	189	48.1	41.8	52.4	18.5	7.4	24.3	59.8	1.1	2.6	
男性:70歳以上	99	33.3	48.5	54.5	13.1	8.1	9.1	59.6	2.0	4.0	
女性:20歳代	117	35.9	45.3	47.0	10.3	7.7	25.6	70.9	0.9	0.9	
女性:30歳代	148	45.3	70.3	52.7	16.9	12.2	29.7	62.8	0.7	-	
女性:40歳代	174	42.0	62.6	46.6	13.8	9.2	21.8	54.6	0.6	2.9	
女性:50歳代	169	46.2	50.3	49.7	6.5	4.7	19.5	60.4	2.4	3.6	
女性:60歳代	205	53.7	53.7	58.5	9.8	8.3	22.4	63.9	0.5	4.4	
女性:70歳以上	112	36.6	40.2	57.1	6.3	4.5	8.9	64.3	0.9	9.8	
ブロック別											
東部A	122	45.1	53.3	58.2	12.3	4.9	18.9	64.8	0.8	1.6	
東部B(田主丸)	109	41.3	53.2	56.9	9.2	7.3	29.4	57.8	0.9	3.7	
北部A	156	46.2	44.2	46.8	14.7	7.1	20.5	63.5	1.3	1.9	
北部B(北野)	107	45.8	55.1	58.9	4.7	5.6	25.2	61.7	0.9	0.9	
中央東部	210	43.8	52.4	51.9	12.9	10.5	21.9	58.6	1.4	3.3	
南東部	176	42.0	54.5	51.7	11.4	6.3	15.9	63.1	1.1	3.4	
中央部	229	45.4	47.2	45.4	15.7	7.0	18.8	60.3	0.4	3.9	
中央南部	293	39.2	53.9	46.4	11.3	7.5	21.8	60.8	1.7	3.8	
南西部	145	48.3	53.8	64.8	13.8	6.9	14.5	60.0	0.7	2.8	
西部A(城島)	68	44.1	51.5	45.6	5.9	5.9	25.0	50.0	-	7.4	
西部B(三瀬)	96	39.6	51.0	54.2	14.6	7.3	10.4	57.3	1.0	6.3	

考察 — 安全・安心のまちづくり —

- 「けがや事故」「犯罪」については約6割、「災害」については5割近くの市民が不安を感じている。具体的には、「けがや事故」では「自動車による交通事故」が最も多く約7割。「犯罪」では、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」が約5割で最も多い。

「けがや事故」「犯罪」「災害」に対する不安感をたずねた質問では、「けがや事故」「犯罪」については約6割、「災害」については5割弱が不安を感じている。

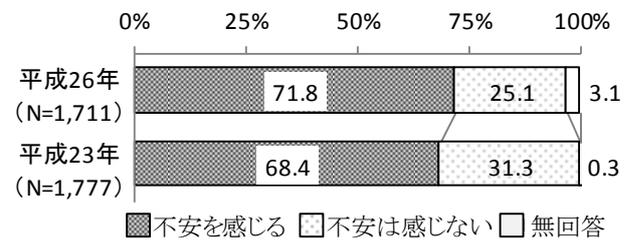
まずは、「けがや事故」と「犯罪」について詳しくみる。平成23年度に実施した調査（以下、前回調査という）では、「けがや事故、犯罪等に対する不安を感じていますか」というたずね方だったため、今回調査で「けがや事故」

「犯罪」のいずれか、または両方について不安を感じるとした人の割合を再集計した。回答の選択肢も前回調査と今回調査とは異なるため厳密には比較できないが、今回調査で「けがや事故」または「犯罪」に『不安を感じる』と回答した人は71.8%で、前回調査の68.4%からそれほど大きな変化はみられない。

性別・年齢別にみると、男性は「けがや事故」「犯罪」とともに30歳代で『不安を感じる』が7割弱と目立って高くなっている。女性は「けがや事故」については20歳代30歳代と70歳以上で、「犯罪」は20歳代から40歳代までで比較的高くなっている。

子どもの状況別にみると、「けがや事故」は小学生以下の子どもがいる世帯で、「犯罪」は小学生の子どもがいる世帯で『不安を感じる』割合が約7割と高くなっている。男性の30歳代や女性の20歳代から40歳代で不安感が高くなっているのは、自分自身に加えて子どもが被害に遭うことへの不安を感じていることによるものと推測される。

◆「けがや事故」「犯罪」に対する不安感(前回調査比較)



◆子どもの状況別にみた『不安を感じる』割合 (%)

		けがや事故	犯罪	災害
子どもの状況	世帯の中に就学前の子どもがいる	68.2	65.7	52.1
	世帯の中に小学生がいる	70.4	71.3	48.0
	世帯の中に中学生がいる	61.3	64.7	43.4
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	64.3	66.0	47.8
	世帯に上記にあてはまる人はいない	56.2	57.6	46.2

「けがや事故」「犯罪」に関して、具体的に市民がどのようなことに不安を感じているかを確認するために、問33の「ふだんの生活で不安に感じることをみる。まず、「けがや事故」については、不安に感じることを「自動車による交通事故」が最も多く約7割が回答している。次に「自転車による交通事故」が約4割、「学校や登下校時の交通事故」が2割強が続いている。「家庭内でのけがや事故」「職場でのけがや事故」は1割台、「余暇活動や運動中のけがや事故」は1割に満たずそれほど高くない。前回調査では「自動車や自転車による交通事故」というたずね方であったため、「自動車による交通事故」「自転車による交通事故」のいずれか、または両方を選んだ人の割合を再集計してみると78.0%で、前回調査の79.3%と同程度である。市民が交通事故に対して不安を感じていることは前回から変わりはないが、今回調査によって特に自動車による交通事故への不安が大きくなったことがわかった。

●子どものいる世帯で「学校や登下校時のけがや事故」や「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」への不安が高く、子どもや女性が安心して生活できる環境の整備が望まれる。

次に「犯罪」についてみると、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」が約5割で最も多く、「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」がそれぞれ2割強となっている。

不安に思うことについては、回答者の性別・年齢別によってかなり差がみられる。「自動車による交通事故」はどの層においても不安感が高いが、男女とも30歳代で特に高くなっている。

「自転車による交通事故」は女性の30歳代、40歳代で5割を超えて高くなっている。「学校や登下校時のけがや事故」は、男女とも就学している子どもをもつ人が多い年代である30歳代、40歳代で高く、特に女性では4割を超える人が不安を感じている。「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」は40歳代以下の女性で4割前後と高く、また、40歳代の男性でも比較的高くなっている。

ここで子どもの状況別の回答を確認してみると、「学校や登下校時のけがや事故」は18歳未満の子どもがいる世帯で不安感が高く、特に小学生の子どもがいる世帯で7割強、中学生の子どもがいる世帯で6割強と高い。「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」は小学生から18歳未満の子どもがいる世帯で4割前後と不安感が高い。子どもの安全に対する意識は久留米市への定住意向にも影響する可能性が高いため、路上等の安全対策の推進や、パトロールの強化など、子どもや女性が安心して生活できる環境の整備が望まれる。

その他、性別・年齢別での特徴をみてみると、「家庭内でのけがや事故」は男性の70歳以上と女性の60歳代、70歳以上の高齢層で高くなっている。「うつなどの心の病や自殺」は若年層ほど不安感が高く、男性の20歳代では約4人に1人が不安を感じている。「職場でのけがや事故」も男性の20歳代で2割を超えて高くなっている。近年、職場の人間関係や長時間労働によりうつ等の精神障害を発症する人が多いことが指摘されており、事業所等に対し、従業員のメンタルヘルス対策や労働環境の整備等の取り組みを促す施策が今後ますます必要とされるだろう。

◆子どもの状況別にみたふだんの生活で不安に感じること

	標本数(票)	自転車による交通事故	自動車による交通事故	高齢者への暴力や虐待	家庭内での暴力や児童・青少年の凶悪犯罪	暴力行為や傷害、強盗	窃盗・空き巣やひったくりなどの盗	のぞき・盗撮などの性的犯罪	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故(労働災害)	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	倒(乳幼児や高齢者の事故)	家庭内でのけがや事故	殺(うつなどの心の病や自殺)	地震や大雨などの災害	特にな	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	39.5 (675)	70.3 (1,202)	3.0 (51)	22.2 (380)	48.9 (837)	23.1 (396)	13.0 (222)	7.2 (123)	21.6 (369)	14.3 (245)	13.0 (223)	54.2 (927)	5.6 (96)	2.5 (42)			
子どもの状況別	世帯の中に就学前の子どもがいる	236	47.0	76.7	3.8	25.0	48.7	31.8	11.9	9.3	51.3	22.0	11.4	53.8	2.1	0.8		
	世帯の中に小学生がいる	233	60.9	73.8	3.9	18.9	48.5	40.8	10.3	9.0	73.4	8.6	10.3	48.9	2.1	1.3		
	世帯の中に中学生がいる	150	64.7	74.0	2.0	17.3	53.3	38.0	8.7	10.7	61.3	6.7	12.7	49.3	3.3	2.7		
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	182	57.1	71.4	5.5	22.0	46.7	39.6	12.6	9.9	41.2	4.9	14.8	52.2	6.6	2.7		
	世帯に上記にあてはまる人はいない	1,147	32.6	68.4	2.7	22.2	48.7	17.0	13.2	6.6	5.9	15.1	13.3	55.4	6.6	2.9		
無回答	6	66.7	83.3	-	16.7	50.0	16.7	50.0	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	

●「災害」への不安は、東部B（田主丸）、北部B（北野）、西部A（城島）で高いものの、水や食料の備蓄は、「何もしていない」が他の地区と変わらない。

災害についての不安感を属性別にみると、男性は60歳代で不安感がやや高く、一方20歳代では不安感が低くなっている。女性は年齢による不安感の差はさほど大きくないが、40歳代と70歳以上でやや不安感が高く、60歳代でやや低い。

ブロック別では中央東部、中央部、中央南部など市の中心部と西部B（三潁）では『不安を感じる』が4割前後と低い。東部B（田主丸）、北部B（北野）、西部A（城島）では6割前後と不安感が高く、居住地域によって不安感の差が大きい。問33の「ふだんの生活で不安に感じる事」においても、東部A、東部B（田主丸）、北部B（北野）、西部A（城島）は「地震や大雨などの災害」が6割を超えて高くなっている。

次に災害に対する備えをみると、水や食料の備蓄については、前回調査から大きな変化はみられず、半数程度の人が水や食料の備蓄を行っていない状況である。年齢別にみると、若い世代ほど備蓄をしていない傾向がうかがえ、特に女性の20歳代では「何もしていない」が水については75.2%、食料についても67.5%に上っている。

ブロック別では、水の備蓄についてはどのブロックも「何もしていない」が5割を超えており、災害への不安が比較的高い東部B（田主丸）、北部B（北野）、西部A（城島）でも他のブロックとそれほど差がない。食料についても「何もしていない」との回答が4割台半ばから6割弱を占めており、不安感の高い地域でも半数近い人が特に対策をしていない。

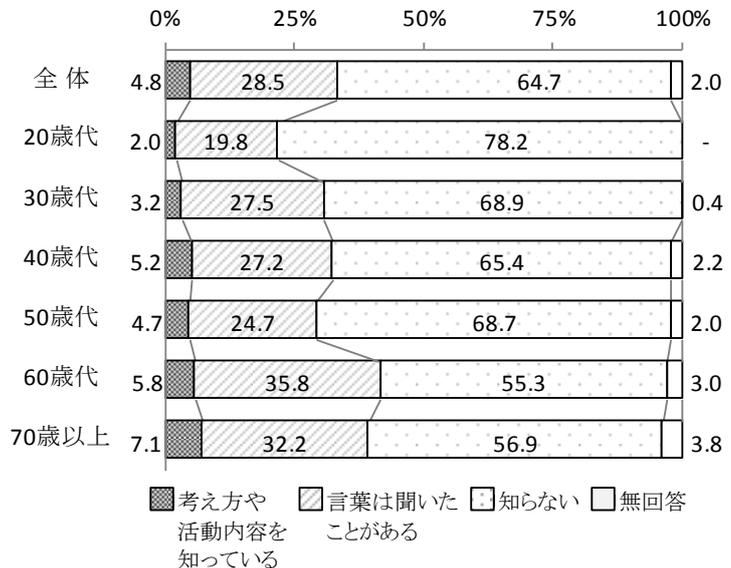
問35の家庭で行っている災害対策や、問36の避難所の認知についても全体の傾向としては平成23年の前回調査からの変化はあまりみられない。久留米市では平成24年の九州北部豪雨での被害を受けた地域もあったが、市民の防災意識や防災対策に大きな変化があったとはいえない。

●「セーフコミュニティ」の認知度は33.3%で、前回調査から大幅に低下している。個人や地域での取り組みとして「近隣住民とのつきあい」「児童や、高齢者の見守り活動」「地域内の安全・安心マップの作成」等は高く、子ども・女性・高齢者などが安心して生活できるように、地域全体で安全・安心のまちづくりに向けた意識を共有するための施策を検討されたい。

久留米市が認証を取得している「セーフコミュニティ」についても、認知度は33.3%と前回調査の48.1%から大幅に低下している。セーフコミュニティのプログラムを推進するにあたっては、市民や地域コミュニティ組織、関係団体等と市が協働して取り組む必要があり、市民の関心と理解を高めていくことが重要な課題となる。特に、20歳代の認知度が低く、若い世代の認知度と意識をどう高めていくかが今後の課題である。

また、問37でたずねている、交通安

◆年齢別にみたセーフコミュニティの認知度





全活動や防犯活動などの「安全・安心のまちづくり活動」についても約3割、「自主防災組織の活動」については6割弱が「行われているかどうか知らない」と回答しており、特に若い世代ほど「知らない」という回答が多くなる傾向がみられる。また、居住地域による差も大きく、市の中心部に近いブロックほど、これらの活動が「行われている」とする回答が低くなる傾向がみられる。セーフコミュニティの取り組みは、防犯や防災だけでなくDVや虐待の防止、自殺予防など幅広い問題を含んでいる。現在、小中高校や各地域で実施している交通安全教室等で積極的に推進したり、市内の大学や医療機関等と連携した取り組みを検討するなど、幅広い年代を対象とした施策を推進し、関心を高めていくことが必要である。

現在、地域のつながりをどう維持していくかは多くの自治体にとって難しい問題であろう。問39の「けがや事故、犯罪などを防ぐために、個人や地域でどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思うか」という問いに対しても、「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」が約6割で最も多くなっている。一人ひとりが気をつけるという対策は、取り組みやすい反面、時に自己責任論に陥ってしまう危険性ももっている。「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」などの回答率は低いが、「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」「登下校時の児童や、ひとり暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」は4割から5割強と多くの人々が回答している。積極的関与が求められる地域での活動への参加は難しくとも、緩やかなつながりの中で日常的に参加できることであれば協力したいという人は多いかもしれない。子ども・女性・高齢者などが安心して生活できるように、地域全体で安全・安心のまちづくりに向けた意識を共有するための施策を検討されたい。

(分析者 武藤桐子)



【久留米市におけるセーフコミュニティの取り組みについて】

◎久留米市では、各種統計データや市民意識調査結果、セーフコミュニティの考え方などを踏まえ、セーフコミュニティにおける「重点取り組み分野」「重点取り組み項目」を次のように設定しており、分野ごとに対策委員会を設置しています。

現在、対策委員会で検討された様々な施策を実施して、地域の安全安心の向上を図るとともに、市民一人ひとりが「けが」や「事故」の予防に向けた取り組みに参加し、取り組みが市全体に広がっていくことを目指しています。

重点取り組み分野	重点取り組み項目
1. 交通安全	●高齢者の交通事故防止 ●自転車事故の防止
2. 子どもの安全	●児童虐待の防止 ●学校の安全
3. 高齢者の安全	●転倒予防 ●高齢者虐待の防止
4. 犯罪・暴力の予防	●犯罪の防止・防犯力の向上 ●DV防止・早期発見
5. 自殺予防	●自殺・うつ病の予防
6. 防災	●地域防災力の向上